

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
1 安全・安心まちづくり事業									
1	安全安心まちづくり推進事業	827,000	1,091,000	1,036,244	誰もが安全に安心して暮らせる「まち」を形成するために、安全安心に関わる様々な分野の団体が加盟している「宮前区安全安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地域団体、事業者、行政機関等の連携・協働により、防犯、交通安全、防災などの総合的な宮前区の安全安心のまちづくりを推進し、暮らしやすい環境づくりに取り組みます。	様々な機会をとりえて、情報を提供することにより町内会・自治会に限らず、様々な団体にパトロールベスト等を普及させ、地域防犯パトロール活動を推進します。 また、通学路の安全を確保するために交通安全電柱幕を設置し、学校・地域の要望に積極的に応えます。	町内会・自治会等のパトロール団体にベスト、のぼり旗等を継続的に支給するとともに、パトロール未実施の町会に働きかけを行い、新たに5町会が防犯パトロールを開始しました。 2月に行われた区境における高津区との合同防犯パトロールは、約170名の参加者があり5コースに分かれて実施しました。区境の防犯活動の啓発とともに、下校時間帯に合わせることで、通学路の安全を確認しながらパトロールを実施しました。	地域のパトロール活動は活発になり、防犯に対する意識は高くなっています。しかしながら自転車盗、空き巣等の犯罪は増加傾向にあります。今後も警察署と連携を図りながら、パトロール用品の提供を行い、地域パトロール活動とともに、地域同士で連携したパトロールに対する支援を続けていきます。また、通学路を中心とした交通安全電柱幕の設置は、啓発効果が大きいため今後も積極的な対応を行っていきます。	危機管理担当
2	子ども安全・安心見守り事業 (区民会議課題)	664,000	664,000	504,939	子どもたちの登下校時における安全などを地域社会全体で確保するため、区内の各学校とその保護者、地域の関係団体並びに区民、事業者、警察及び行政が一体となり、次のことを実施します。 1. 子ども安全・安心協議会、連絡会等を開催し、年間の活動方針の決定や、情報・意見交換を行う。 2. 「宮前区子ども安全・安心通信」年2回発行し、区内小学校、町内会等に配布し、広報を行う。 3. 各小学校区子ども安全・安心協議会が実施する「地域安全マップづくり」への支援を行う。	・宮前区子ども安全・安心協議会の総会の開催(活動報告・活動計画) ・情報交換等の連絡会の開催 ・子ども安全・安心通信の発行(年2回) ・各学校での安全・安心の取り組みの報告会の開催(各小学校毎)	3・11の大震災を受けて、子どもの安全・安心に関して、防犯だけでなく防災面の関心が非常に高まっています。連絡会議では、防犯に並び防災面での各小学校区での取組が発表され、有意義な情報交換を行うことができたと共に、子どもの安全・安心を地域ぐるみで守るという目的を再確認することができました。 また、地域で防犯パトロール活動などに携わる方々について、子ども安全・安心通信で紹介することで、多くの保護者や地域の人に、その地道な活動の様子を伝えていくことができました。	今後も子ども安全・安心協議会を通じて、各小学校区や地域の取組の情報交換・共有を行い、各団体の活動の活性化を図っていく。また、協議会の活動の様子や地域での取り組みの様子を、通信で広報することにより、子どもの安全や地域の取り組みに関する保護者や地域住民の意識を引き続き喚起していきます。	子ども支援室
3	防災意識普及啓発事業 (区民会議課題)	2,205,000	2,205,000	2,003,402	各種の防災意識普及啓発活動(防災ニュースの発行、防災フェアの実施等)を行い、区民一人一人に防災に関する知識を根付かせことにより、防災意識の向上を図ります。 地域で防災活動の中心となる防災推進員の養成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋がっていきます。	・防災ニュースの発行(7、9、12、3月) ・防災フェアの実施(3/9) ・防災推進員養成研修、及び、フォロー研修の実施(7/7、1/23,2/3)	・防災ニュースを4半期に1回、年4回、まちづくり協議会防災部会と協働で発行することで、区民の防災意識普及啓発を進めることができました。 ・防災フェアにおいては、防災講座、展示実演に加え、東日本大震災のドキュメンタリー映画「きょうを守る」を上映し、さらに、その映画の監督である、陸前高田市の実家が被災された菅野結花監督による講演を行いました。また、子ども向けの防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を実施し、多くの家族連れに参加していただきました。 ・防災推進員養成研修を行い、新たに66名を宮前区防災推進員として登録しました。また、防災推進員フォロー研修を行うことで、防災推進員の知識を深め、地域防災力の向上を図ることができました。	いつ起きるかわからない災害に備えるために、各事業は継続実施していかなければなりません。また、平成25年度は宮前地区と向丘地区でそれぞれ1箇所ずつ避難所開設訓練を開催することを予定しているため、防災ニュース、防災推進員については、訓練事業とも関連させていくことで、防災意識の普及啓発、及び、地域防災力の更なる向上を図ることが必要です。	危機管理担当
2 地域福祉・健康づくり事業									
1	健康づくり支援事業	792,000	335,000	314,075	健康づくりの取り組み方、健康づくり団体の紹介等を載せた情報紙を発行し健康への関心を高め健康づくりの実践に取り組む人を増やします。公園体操マップの修正、増刷と宮前区オリジナルストレッチ体操「風の中で」のリーフレットを増刷し、これらを活用し公園体操を区民に広げ「風の中で」を普及します。	健康づくり情報紙の内容等詳細については健康づくり推進会議で区民と協働して検討を行います。今年度は情報誌の内容を前期高齢者向けにし、わかりやすく取り入れられやすいものを工夫して作成します。	健康づくり情報紙「健やかライブ宮前」を健康づくり推進会議4回、作業部会3回行う中で検討を重ね、前期高齢者の健康的な生活習慣の実践を促す内容で1万部作成し区民に配布しました。	健康的な生活習慣作りの普及を更に推進していくために、健康づくり推進会議で健康づくり情報紙の対象や内容を更に検討し、継続して作成し区民に配布していく予定です。	地域保健福祉課
2	こどもの虫歯予防支援事業	398,000	205,000	204,750	子育て世代の区民に対し、早期からう蝕予防に資する情報をも伝えて、う蝕予防のための行動変容を促すことのできる小冊子を作成します。小冊子は、3か月児健診などの乳幼児健診、相談の場で配布し、乳幼児のう蝕予防の媒介とします。	宮前区歯科医師会や健康づくり推進会議で十数回検討を行い、子育て世代にわかりやすく行動変容に結びつく内容の小冊子を作成しました。また、小冊子を活用して講演会を実施、さらに3か月健診などの乳幼児健診・相談の場で配布し、う蝕予防の普及啓発をしました。	小冊子を媒体としたう蝕予防の普及啓発活動で、介入する前に比べ、介入後は、乳幼児のう蝕罹患率は低下しました。	継続して、3か月児健診などの乳幼児健診、相談の場で配布。また、小冊子を利用した講演会や健康づくり事業を実施していきます。	地域保健福祉課

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
3 総合的なこども支援事業									
1	子育て情報発信事業 (区民会議課題)	1,487,000	1,457,000	1,391,936	①から⑤により、区民が必要とする情報の提供を行う。 ①子育て情報誌「みやまえ子育てガイド とことこ」の作成と配布 ②「みやまえ子育てガイド とことこ」の補完情報誌「かわら版」の発行 ③宮前区こども子育てホームページと「とことこ」ホームページの管理運営 ④子育て情報掲示板、や情報提供コーナーでの情報提供と管理 ⑤こども支援室のリーフレットの配布	「みやまえ子育てガイド とことこ」を関係機関からの情報提供や、各制度の改正などによる情報の修正を行い、増刷する。また、子育て支援連絡会議の中でかわら版の内容について検討し発行、配布する。ホームページ・掲示板・情報コーナー等の管理運営を行い、正しく必要な情報の提供を行う。	子育て世代の転入者や母子手帳の受給者をはじめ一般の子育て世帯などに対して、「とことこ」・「子育てかわら版」の発行及び「ホームページ」の閲覧、さらに子育て情報掲示板や情報提供コーナー等で広く子育て情報を提供したことにより、宮前区内における子育て世帯の孤立や育児不安を軽減することに幅広く貢献できた。	平成24年度は、子育て情報誌の発行に関連して、最新情報が見れるよう「ホームページの更新」の回数を増やしていくことが課題である。また、平成25年度には、「宮前区子育てガイドとことこ」の大幅な見直しと改訂作業を行う(当初は平成24年度に予定していたが延期になった)ため、平成24年度末までに「とことこ」の改訂委員会を設置する準備をしておく必要がある。	こども支援室
2	子育て支援事業 (区民会議課題)	812,000	783,000	771,244	・親と子の子育て応援セミナー(連続育児講座) ・親と子の子育て応援セミナー(23年度OG会) ・親と子の子育て応援セミナー(オープンセミナー) ・あそびの広場…遊びの場の提供と子育て相談を同一日、同内容で年間5回実施。(5月、7月、9月、11月、1月) ・土曜日版「あそびの広場」 ・向丘出張所子育て支援イベントの開催(年2回)	・公営保育園、子育て支援センター、先輩ママ、庁内関係部署と連携・協力し、子育てに関する知識・技術の専門性を活かした連続講座(各8回)を2回実施し、参加者の育児力の向上と参加者同士の仲間作りの支援を行う。 ・公営保育園にて遊びの広場(年5回)を同一日で開催する。 ・区内の子育て中の区民を対象に地域子育て支援センターを会場にして、土曜日にオープン講座やあそびの広場を実施する。	・連続講座を受けることで育児力の向上につながったり、グループワークを通して子育ての情報交換をした り、悩みを共有することで、育児への不安や孤立感が軽減できた。 ・地域の子育てグループ等への参加によって、親同士の交流が図られ、ボランティア活動や子育てグループの担い手につながった。 ・オープン講座や遊びの広場を土曜日に行ったことで、父親の育児参加につながった。 ・遊びの広場を各保育園で開催することで、同年齢の子どもの様子や子どもへの関わり方を知り、育児力の向上につながった。	8回の連続講座の内容を検討し、ニーズに応えるとともに他機関との連携を取った内容を充実させる。 OG会はさらなる子育て力のフォローアップと区民を対象にした企画実施を目的に行う。 オープンセミナー、遊びの広場は土曜日に開催することで、父親の育児参加を促したり、たくさんの区民が参加できるように、子育て支援センターの土曜開所と合わせて行う。	こども支援室
3	子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	306,000	306,000	229,028	区における子育てを地域社会全体で支えるため、地域の関係者があつまり、様々な子どもに関する情報交換、課題の共有、支援の取り組みなどを行い、ネットワークを強化する。	1子ども支援に係るネットワーク事業 ①関係機関等の代表者による子ども・子育てネットワーク会議の開催(年3回)②実務者による子育て支援関係者連絡会(隔月) 転入者向けイベントの開催 活動団体交流会の開催 2. 要保護、要支援児童等ネットワーク事業 ①区内の関係機関、施設、団体等の実務者を対象に会議を開催し、連携の強化、情報交換、学習等を行う。(年3回) 3. 幼・保・小連携事業 ①小学校へのスムーズな移行のため、育ちに不安を持つ保護者の相談会の開催 ②相互理解を深めるために、保育園実習や小学校訪問の実施 ③関係担当者等の連絡会の実施	1・2・3の取り組みにより区内の関係機関の連携が強化され、情報の交換、共有、協力体制の継続が行われた。	こども達が抱えている問題は多様化し、1つの機関で解決するには難しく、関係する機関が、情報交換、課題の共有を行い、連携して、支援する必要がある。特に深刻化している虐待など、要保護児童等についても、行政・関係機関・地域が連携して、早期発見・早期支援を行い、子どもの生命・人権を守るため連携を強化していく。	こども支援室
4	子ども包括支援事業	3,511,000	3,511,000	3,481,334	「こどもサポート南野川」を地域の拠点とし、子ども・子育て支援ニーズにきめ細やかに対応していく。 1 子育て支援サロンやイベントの実施(①子育てサロン、②いっしょに遊ぼう、③いっしょに作ろう、④季節のイベントの開催) 2 フリースペースの提供 3 こども・子育て相談の実施 4 子育て自主グループなどへの貸しスペースの提供 5 子ども・子育て情報の提供 6 不登校、ひきこもり等の子どもへの居場所の提供、生活、学習支援 7 子ども・子育て支援の講座・イベントの開催	・委託先と運営会議・教育情報交換会を行いながら「こどもサポート南野川」の運営に取り組む。 ・学齢期の子どもや保護者を対象に、抱えている課題などを把握し、必要な学習会、研修会を開催する。	・子育て支援では人形劇、クリスマスなどのイベントも盛況で利用者も増えている。地域ボランティア等の協力も得られ、拠点として確実に根付いてきており、つながりが広がっている。課題のある子どもの支援は利用者が増加し必要な支援が行われた。特に不登校児の学校復学率が高いことなどから、支援方法等が注目され、教育委員会等や関係機関との連携の強化が行われ情報交換等を実施した。	課題を持つ子どもたちの支援は、問題が多岐にわたり、複雑、深刻なケースが多く対応には専門的知識やスキルを持ったスタッフが必要である。利用者が増加していることや、教育分野に精通したスタッフの確保が必至のため、予算を拡充する。 また関係各局との連携により、地域課題対応事業から局区間連携事業へと移行する。	こども支援室

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

N O	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
5	子育て支援食育推進事業	128,000	128,000	125,974	<p>①地域子育て支援センター2箇所にて、子育て支援食育講座「にこにこもぐもぐ」をそれぞれ年4回開催、離乳食の作り方の実演を盛り込んだ講座とする。</p> <p>②給食直営保育園での土曜日版「にこにこもぐもぐ」を2地区で年1回づつ開催、離乳食の試食ができる機会にする。</p> <p>③外部講師を招いた研修会を計画・参加を呼びかけ人材を育成を行う。研修会には民営保育園の栄養士にも参加を呼びかけ人材育成につなげる。食育講座の広報、人材育成講座の企画・運営にあたっては地域保健福祉課栄養士が行う。</p>	<p>①子育て支援食育講座「にこにこもぐもぐ」を支援センター2か所で4回づつ実施する。</p> <p>②土曜日版「にこにこもぐもぐ」として保育園2か所で1回づつ実施する。</p> <p>③研修会として、講演会・調理実習・食育活動グループの取り組みを実施する。</p>	<p>・調理のプロセスや試食を入れたことにより、食に対する不安や悩みの解消につながった。地域栄養士が入ったことにより、個別相談の時間が多くとれ、また人材育成につながった。</p> <p>・土曜日版では、保育士と連携し食べさせ方のポイントが伝えられ、地域の保護者に保育園に足を運ぶきっかけにもなった。</p> <p>・各種の研修を通して、区内栄養士の連携・他の子育て支援事業を通し、育成にもつながった。</p>	<p>子育て支援食育講座「にこにこもぐもぐ」と土曜日版での内容の充実を図る。</p> <p>外部講師を招いた研修会を計画し、公営・民営保育園・地域栄養士の人材育成を行う。宮前区栄養士会議を開催し、民営保育園栄養士と一緒に離乳食のパンフレットを作成することにより、人材育成につなげる。</p>	こども支援室
4 環境まちづくり事業									
1	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業	980,000	980,000	977,096	<p>・中間支援機能を有する宮前区まちづくり協議会を通じて、区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗などを提供します。また、緑化活動団体とのネットワーク網を構築し、緑化活動団体の活動の活性化を図るとともに区内の緑化推進と区民の緑化意識の高揚を図ります。</p> <p>・市の北の玄関口としての東名川崎インターチェンジ周辺を含む地域緑化推進地区についての景観整備を行い、地域の緑化推進を支援し、川崎のイメージアップを図ります。</p>	<p>①年1回(秋)、区内の緑化活動団体に花苗を提供</p> <p>②年2回(春・秋)、区内の地域緑化推進地区へ花苗などを提供</p>	<p>・区内で活動する緑化活動団体24団体へ花苗の支援を実施。申請株数が予算を大幅に超過したため、各団体への株数を調整しました。</p> <p>・また、財団法人川崎市公園緑地協会と連携し、「花とみどりの支援説明会」を開催し、申請団体に対する講座を行うとともに、団体同士の交流促進を図りました。</p> <p>・緑化推進地区として、東名川崎IC前花壇に対し春・秋各1回の支援を実施しました。</p>	<p>川崎市公園緑地協会、道路公園センターや緑化活動団体との調整を図りながら、より効果的な事業実施について、検討していきます。</p>	地域振興課
2	ecoゴコロプロジェクト推進事業	855,000	855,000	854,700	<p>・環境に配慮した暮らし方「エコ暮らし」(エネルギー・資源循環・自然共生)について、分かりやすく啓発することで、区民による環境配慮行動や設備の導入に向けた実践行動を促します。</p>	<p>環境問題に関するイベントの開催、それに伴う地域の団体間ネットワークの形成</p>	<p>イベントの実施に向けて、環境分野で活躍する様々な市民活動団体・個人(計14人)による実行委員会を組織し、計4回の全体会開催、正副委員長などとの打ち合わせを経て、「みやまえJUN・CANまつり」を12月1日に実施し、区民等へ広く啓発を行いました。イベント実施までの過程から、区民主体のネットワークづくりを促進することが出来ました。</p>	<p>環境に係る団体間のネットワークづくりを促進させるという目的は達成したため、今後は、区民による主体的な活動を支援していきます。また、区役所庁舎の省エネ化を推進し、区民等への啓発を図ります。</p>	企画課
3	公園の魅力アピール事業(区民会議課題)	441,000	0	0	<p>公園に情報掲示板を設置し、その公園で開催されるイベントの情報、その公園で活動している団体の活動情報、公園管理運営協議会からのお知らせ等を掲示することで公園の魅力やコミュニティの価値を発信し、公園の利用促進と地域コミュニティの活性化を目指すことが区民会議から提案されました。</p> <p>掲示板の設置にあたっては公園管理運営協議会と管理協定を締結し、掲示板の設置は区が、掲示する情報の募集と更新、掲示板の維持管理は地域が行うものとします。</p>	<p>上半期は、モデル実施を行った3公園を対象に、情報掲示板の活用状況、情報発信効果、維持管理の方法等について評価・検証を行います。</p> <p>下半期は、本格実施のための要綱を策定し、設置希望団体の申請受付、設置する公園の選定、団体との管理協定の締結、掲示板の設置を進めます。</p>	<p>公園によってかなり活用状況にバラツキがあり、また、自治町内会等が設置している既存の掲示板との差別化を図ることができませんでした。そのため、今年度は新たな掲示板の設置を取り止めるとともに、事業そのものを廃止することとしました。</p>	<p>これまでに設置した5基の掲示板については、各公園管理運営協議会の意向を確認したうえで、継続して使用する意思がある場合については、現在設置している掲示板の利用に関する覚書を締結し、使用を継続することとします。</p>	企画課

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
5 地域資源活用事業									
1	みやまえロビーコンサート 開催事業	1,696,000	1,625,000	1,612,800	区役所を訪れた方々に、上質の音楽を通じておいしい時間を過ごしてもらいます。また、コンサートを定期的で開催することで、区民にとって身近で親しみやすい区役所の実現をめざします。1993年10月から毎月区役所2階ロビーでコンサートを開催。来場者数は毎回130人前後、毎回レベルの高い奏者を迎え様々な音楽を提供しています。	来場者や出演者の安全確保、昼窓業務に影響がないよう音量に配慮したジャンルの設定など、区役所のロビーという限られた空間を最大限有効に活用するための企画運営を行いました。また、巡回コンサートにおいては、開催施設や委託業者との事前調整を綿密に行い、円滑な運営や安全確保に努めるとともに、ポスターやチラシを作成し近隣施設での配布や町内会の回覧にのせてもらうなど周知・PRを積極的に行いました。	定期的に開催する貴重なコンサートとして毎回130名程度の来場者があり、良質の音楽を提供することができました。また、巡回コンサートとして区内3ヶ所(アリーナ、青少年の家、向丘出張所)でも開催しましたが、事前にポスターやチラシを作成し近隣施設での配布や町内会の回覧にのせてもらうなど周知・PRを積極的に行ったこともあり、予想を上回る来場者がありました。	毎回バラエティに富んだ構成で継続してコンサートを開催していきます。巡回コンサートの回数や演奏ジャンル等についても検証を行っていきます。	地域振興課
2	みやまえ太鼓ミーティング 開催事業	1,932,000	1,865,000	1,864,663	太鼓を通じて、宮前区の誇る文化が保存・伝承されていることを再認識するとともに、演奏者・来場者の交流や和太鼓グループ間の交流を図ることを目的に、区内の和太鼓グループやゲスト等による和太鼓の演奏を行います。開催にあたっては公募の区民や団体からの推薦委員で構成された実行委員会を設置し、準備から当日の運営、演出にいたるまで、区民が主体となって行っています。平成11年度から、地域の伝統文化に根ざしたイベントとして開催されており、夏のイベントとして地域に定着しています。他の区では見られない、宮前区ならではの事業となっています。	「宮前ねぶた」については、引き続き宮崎中学校の協力を得るとともに、新たに区内の保育園園児の参加を依頼して地域や世代間交流を促進します。また、スタッフ用の法被を作成することで、実行委員会としての一体感や交流促進につなげるとともに、うちわを作成し祭りの雰囲気づくりや節電対策に役立てます。ゲストについては、子ども向けのワークショップを実施し、団体のスキルアップや団体同士の交流につなげます。	テーマを「太鼓でひろがる輝望の輪」として開催。公募による区内の太鼓グループ11団体が参加。各団体の演奏だけでなく、子ども向け太鼓体験コーナー、ゲストの歌舞劇団田楽座による子ども向けワークショップ、区内の保育園園児による荒馬踊りや宮崎中学校の生徒作成の「宮前ねぶた」の披露等を実施することで、地域との交流、世代間の交流を図ることができました。	実行委員会の熟練度が高く、自主的な企画・運営を行うことができる環境が年々整ってきています。出演団体同士のネットワークが活性化し、区の音楽事業の大きな特徴となっています。平成25年度には節目となる第15回を迎えることもあり、地域の民俗芸能の舞台等を取り入れるなど、これまで以上に地域に根ざしたイベントを目指していきます。	地域振興課
3	しあわせを呼ぶコンサート 開催事業	2,650,000	2,650,000	2,649,470	音楽を通じて障害者と健常者との相互理解と交流を深めるとともに、障害者の社会参加等の意欲を高めることを目的としてコンサートを実施します。コンサートの第1部は宮前区内の障害者施設・作業所に通所する方々が、ベートーヴェンの第九を原語で歌うほか、数曲を合唱します。第2部はプロの演奏家によるコンサートを行います。また、ロビーにおいて施設等が制作したパンや足拭きマット等の展示や販売を行います。	事業の企画・運営について、宮前区障害者施設・作業所等連絡会と協議のうえ実施していきます。	各施設、作業所での練習に、指導者のほかコーラスで賛助出演する方々も参加していただき、コンサート開催の準備段階から音楽を通して、障害のある方とない方の交流がもてました。また、新聞社等の報道、広報等を通じコンサートの趣旨等を広くPRすることができました。出演者は、日頃の活動や成果を発表することができ、充実感や達成感を得ることができました。また、来場者アンケートによると、出演者の熱演が元気と感動を与え、障害者に対する理解を深めることに繋がっています。	障害のある方が多くの区民にふれあい、日ごろの活動を発表する場として、広く周知されるようになってきています。障害のある方の社会参加と自立を促すために、今後も障害者福祉施設・作業所等連絡会との連携・協力を進め、相互理解と交流の場として発展させていきます。	地域振興課
4	宮前区民祭記念イベント 実施事業	315,000	315,000	315,000	●「小さな手 大きな手 みんなで築く宮前区」を合言葉に、昭和57年の区誕生時から区民の手づくりで開催され、例年20万人を超える人々が来場している宮前区民祭。平成23年度には第30回を、平成24年度には区制30周年をそれぞれ迎えることから、節目となる区民祭において記念イベントを開催することで宮前区を元気あふれるふるさととして発展させるとともに区民の友情と連帯を育む一助とします。	宮前区誕生30周年を記念して、地域の魅力発信及び集客向上のためのイベントを検討しました。区民祭会場において子どもが楽しめるイベントが少ないとの指摘を受け「第31回宮前区民祭」の子ども向け特別企画として、フアファとロードトレインを水産棟前に設置しました。	平成24年10月21日(日)開催の第31回宮前区民祭において、フアファ及びロードトレインを設置。フアファに730人、ミニSLに800人の利用者がいました。	記念イベント事業としての役割は終了したことから、翌年度以降については廃止とします。なお区民祭の内容、イベント、催し物などについては、「区民祭実行委員会」のなかで協議・検討を進めていきます。	地域振興課

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
5	地域の魅力発信事業	709,000	772,000	742,194	<p>●宮前区の地域の魅力を区民や他の地域の住民に紹介し、より宮前区に興味を持ってもらうことで、多様な人材の地域づくり・まちづくりに向けた区政への参画を促すとともに、宮前区を訪れる人が増えることで地域経済の活性化にも寄与することを目的とする事業。●宮前区観光協会が任命している観光情報取材記者の活動を支援します。●宮前区文化調査委員会が主催する、宮前歴史ガイドを活用した区内の歴史・文化を巡るウォークイベントといった、区民による地域の魅力の再発見とその情報発信を内容とする事業を実施します。●宮前区誕生30周年記念事業として、宮前区まちづくり協議会と協働で、区内の直売所を紹介する農産物直売所マップを作成印刷します。●宮前区誕生30周年記念ビデオを制作し、活用します。</p>	<p>●宮前区歴史文化調査委員会と協働して、宮前歴史ガイドを活用した区内の歴史・文化を巡るウォークイベントを開催します。●これまで開催したウォーキングのコースをまち歩きマップとしてまとめて発行します。●宮前区まちづくり協議会と協働で、区内の直売所を紹介した農産物直売所マップを活用した農家巡りウォーキングを開催します。</p>	<p>●観光情報取材記者による活動については、取材情報が観光協会情報紙「宮前の風」(年3回発行)に反映されるなど地域の魅力発信につなげることができました。●宮前区歴史文化調査委員会と協働し、春に3回、秋に1回のウォーキングイベントを開催しました。毎回、定員を超える応募があり、参加者の地域の歴史・文化に対する関心の高さが伺えました。●これまで開催したウォーキングのコースをもとに区内の5地域のまち歩きマップをそれぞれ5,500部作成し、区役所等で配布を行いました。コース上の歴史・文化に対する情報を分かりやすく解説しており、マップ片手に手軽にまち歩きができると好評を得ています。●区内の直売所52箇所を掲載した農産物直売所マップを活用した農家巡りウォーキングを春と秋に2回開催しました。実際に農家を訪れ、農作物に関する話や都市農家の状況等についての話を聞くことができるため、地域の農に対する意識向上に繋がっています。●PRキャラ着ぐるみの洗浄等を実施しました。</p>	<p>●「宮前の風」発行など都市型観光の特徴的な取組として注目される観光情報記者の活動支援については、一定の役割を終えたことから24年度で終了します。(活動自体は観光協会事業として継続) ●好評の「宮前歴史ガイド」を活用したウォーキングイベントを継続するとともに、大山街道等区域を越えた地域資源については、他区との連携について検討していきます。 ●引き続き農を重要な地域資源と捉え、直売所マップを活用したまち歩きイベントを開催します。</p>	地域振興課
6	みやまえ映像コンクール支援事業	805,000	805,000	805,000	<p>区内の中学生に宮前区を知るきっかけとなるようなテーマでプロの映画人に指導を受けながら区内を撮影してもらいます。撮影した映像を映像コンクール受賞者OB・OGやIT関連企業の方に指導してもらいながら、パソコンで編集等を行い、編集映像作品の制作に挑戦します。そして、その作品をプロの映画監督などが審査を行いコンクールを実施します。</p>	<p>区内中学校へ参加を積極的に働きかけます。区内にコンクール開催を様々な方法で広報します。</p>	<p>区内から上映会・表彰式へ来場しやすいように、会場を宮前市民館にして、広報をこども文化センターにも広げることで、昨年よりも来場者が増加しています。</p>	<p>平成26年度以降は予算措置を行わないため、実行委員会と終了に向けて調整を行います。</p>	地域振興課
7	友好都市交流事業	505,000	505,000	441,184	<p>●区制15周年事業の一つとして平成8年度から開始した長野県佐久市との友好都市交流事業を継続し、両市区の交流をさらに深めていきます。長野県佐久市との交流を実施することで、互いの市にない要素を補完し合い、「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現を目指す事業。 ・民間交流事業委託:都市化が進む宮前区において、子供たちが佐久市での自然体験を通じ、里山保持、緑の回廊作りなどの重要性を学ぶ機会とします。運営は体験研修のプログラム作りや、参加者募集、引率など主体的に行える団体に事業委託します。(想定参加者40名、1泊2日。) ・物産観光交流事業委託:両都市の観光物産交流を積極化させるため、宮前区観光協会に委託を行います。</p>	<p>子どもたちが佐久市において自然体験等を行う民間交流事業及び区民祭への佐久市物産展誘致等を行う物産観光交流事業を実施しました。</p>	<p>○友好都市民間交流事業については、委託先団体との調整を適時的確に行い40名の参加を得て8月25・26日に実施しました。 ○物産観光交流事業については、佐久市側との良好な関係を構築し区民祭への物産展招致を行いました。りんごオーナーPRについては例年連携するロビコンの巡回化による連携事業の変更にも柔軟に対応し適正かつ効果的に実施しました。</p>	<p>各事業を通して、区民が佐久市の文化に触れるきっかけを提供することができ、一定の役割を果たすことができました。今後も、物産観光交流と子ども自然交流を柱として交流を推進します。</p>	地域振興課
8	宮前区誕生30周年記念音楽推進事業	1,005,000	1,005,000	997,500	<p>・宮前区誕生30周年記念コンサートとして、川崎市消防音楽隊の演奏とカラーガード隊レッドウィングスの演技を宮前市民館大ホールで行います。 ・親子が気軽に楽しめるコンサートを宮前区誕生30周年記念事業として、宮前市民館大ホールで開催します。 ・コンサートを通して地域や世代間の交流や地域コミュニティの促進及び区誕生30周年の周知や郷土愛の醸成を図ります。</p>	<p>・記念コンサートについては7月1日の市制記念日及び分区の記念日に合わせて記念式典と合わせて開催します。宮前区誕生30周年記念まつりと同日に開催することで、より多くの来場者に来てもらい、区民の交流や地域への意識向上を目指します。また、「音楽のおもちゃ」コンサートについては、親子を対象としたコンサートとすることで、世代を超えた交流や宮前区のイメージアップを図ります。</p>	<p>・記念コンサートについては、記念式典に引き続いて行うことで、多くの来場者に宮前区誕生30周年をPRすることができ、区民に対し「宮前区」を再認識してもらい、ふるさと意識の醸成を図ることができました。 ・「音楽のおもちゃ」コンサートについては、区内での事前広報を充実させたことから、定員を大幅に超える応募がありました。コンサートの内容についても楽器体験を取り入れるなどして、親子で聞くだけでなく体験できるものとすることができました。</p>	<p>宮前区誕生30周年として開催したことから、次年度以降については同様のイベントは開催する予定はありません。</p>	地域振興課

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
6 地域コミュニティ活性化推進事業									
1	まちづくり推進事業	3,835,000	3,835,000	3,701,750	まちづくり協議会が中間支援組織として、地域で活動している団体間のネットワーク化を推進し、まちづくりのつなぎ役として活動することにより、市民活動を積極的に支援します。また、活動支援金により市民活動団体の活動を維持・活動の拡大を支援します。また、市民活動団体の活動を広報紙「まちづくり広場」を通じて紹介することで、新規会員の増加を後押しします。様々な手法で市民活動団体を支援することにより、まちづくりを活性化させます。さらに、地域が抱える課題解決に取り組むことにより、区民主体のまちづくりを進めます。	①市民活動団体の活動を紹介する広報紙「まちづくり広場」を発行します。②活動資金不足に悩んでいる市民活動団体に対し活動支援金を交付します。③市民活動団体の情報収集及び収集した情報の発信を通じて、市民活動団体相互の交流を促進するとともに、活動団体自身の情報発信能力を高めます。④行政と連携・協働した事業を幅広く展開します。⑤区内の美しい景観・市民活動を紹介するフォトコンテストを実施します。⑥市民活動団体の活動発表の場として「まちづくり広場ラブリミヤまえ」(まちづくりフォーラム)を開催します。	①「まちづくり広場」を毎月発行、町内会自治会回覧のほか、区内行政施設で配布し団体活動情報等を発信しました。②活動支援金を19団体に交付し活動の活性化を図りました。③まちづくりウォーキングを2回実施し区民が団体活動等に触れる機会を創出しました。また、情報発信の連続講座を開催し、活動団体の情報発信支援を行いました。④太鼓ミーティング等へ参加し協働事業を展開しました。⑤第7回フォトコンテストを開催し、区民の地域に対する意識向上を図りました。⑥まちづくりフォーラム第5回ラブリミヤまえを開催し、市民活動団体の交流や区民のまちづくりに対する意識向上を図りました。	中間支援機能を有する唯一の組織として、団体活動等を「つなぐ・むすぶ」「ひろげる」「パートナーシップ」の視点で活動するまちづくり協議会と協働して取り組むことが今後も重要であり、課題解決に向けて区民主体の快適で住みやすいまちづくりを目指します。	地域振興課
2	まちづくり支援事業	2,789,000	2,789,000	2,788,800	専門性を有するコンサルタントが、まちづくり協議会及び区民のまちづくり活動に対して適切なコンサルティングを行うことで、より区民にとって暮らしやすい、魅力あるまちづくりにつなげます。また、市民活動団体は、活動資金がない、活動場所がない、活動が広がらない、活動を発展させる情報やノウハウが不足している、団体の交流がない、などさまざまな悩みを抱えており、これらの悩み解決に役立つ情報を専門的見地から提供します。	①まちづくり協議会へのコンサルティング及び会議等の運営支援を行います。②まちづくり広場ラブリミヤまえ(まちづくりフォーラム)への企画提案及び実行委員会への支援を行います。③区内のまちづくりの支援に対する助言及び提案を行います。	・活動団体が活性化するような仕掛け作り、講座開催を中間支援機能を有するまちづくり協議会に提案・実施するとともに、まちづくり協議会自身の活動が効果的、活性化するようにコンサルティングを行いました。 ・ラブリミヤまえでは、12回におよぶ会議への出席とおした企画提案や当日の運営に関わる支援、当日プログラムの作成等実行委員会への支援を効果的に行いました。	区民にとって住みやすいまちづくりを行うため、まちづくり協議会や区民のまちづくり活動に対して専門性を有するコンサルタントからの適切なコンサルティングは必要不可欠です。慣例慣行を改善し、委員による新しい企画を実現する際にコンサルの専門的能力への期待感は大きく、新たな企画・創造の契機ともなります。今後とも計画的な企画展開を行政・区民・コンサルの三位一体で図る必要があります。	地域振興課
3	みやまえスポーツふえすていばる開催事業	1,872,000	2,252,000	2,175,449	従来から宮前区内で行われてきた複数のスポーツ大会をスポーツ技術の向上、健康増進という共通の事業目的のもと関連した事業としてひとくくりにするとともに、新規の大会についても企画し実施することで、区民に対してスポーツ参加意識の向上を図ってきました。歩こう会やディスカバーウォークについては、区民同士のふれあいや、高齢者や若年層の健康増進を図ることが最大の目的となっており、広報を通じ多くの参加者を集めています。	バレーボール大会(6月・7月)ソフトボール大会(5月・9月)ドッジビー大会(9月)歩こう会(10月・11月・2月)ディスカバーウォーク(11月・2月)ジュニアフットサル大会(2月)	ジュニアフットサル大会では継続して出場しているチームのほか、新たに参加するチームも増え、より多くの方が参加でき技術向上・交流の場となっています。また、ニューススポーツであるドッジビー大会では応募する小学校が増えており地域の小学生を中心に競技として広がっています。その他、歩こう会やディスカバーウォークなどのイベントでは、区民がスポーツを通じてふれあう機会ができ、また区民交流の場づくりができています。また、各種スポーツ大会において、緊急時に救命措置ができるようAEDを配備していますが、法定耐用年数に達するため機器の入れ替えを行いました。	現在、事業目的は例年ほぼ達成されており、今後も幅広い世代・地域の住民に参加してもらうため、チーム編成における要項の見直しなどを行い、その他、市政だより・町会回覧等も活用し区民の健康増進にさらに寄与できるよう事業を継続していきます。	地域振興課
4	地域情報発信事業(区民会議課題)	3,492,000	3,788,000	3,359,739	イベントやお祭り・伝統行事など、地域で行われている地域活動や区が実施している取り組みなどを広く発信し、地域活動への参加を促進することで、地域への愛着や関心を高めるとともに、世代間・地域間交流、親子のコミュニケーションづくりの一助とし、地域コミュニティを活性化していきます。 また、宮前区の地域コミュニティへの参加を促す冊子を作成することで、まちの楽しみ方や地域社会に参加してもらうための方法やプロセスなどを紹介し、地域へのなじみが薄い区民が、地域を感じ・体験し・参加することを促進します。	イベントカレンダー「歳時記みやまえ」を毎月発行。回覧物の一括配送を毎月実施。コミュニティへの参加を促す冊子「ぐるっとみやまえ」を作成し、25年1月から転入者などに配布開始しました。	「歳時記みやまえ」は、町内会・自治会の回覧もされるため、掲載記事の時期に留意し、また市政だより区版の情報などと全く同一とならないように調整を行いました。地域の情報発信を担う人材「みやまえ情報サポーターズ」による情報誌「ぐるっとみやまえ」を10,000部発行し、転入者などへの配布を行いました。	「歳時記みやまえ」は情報の発信方法を見直し、隔月発行とします。町内会・自治会の回覧については、庁内ルールを作成し、チラシの種類を削減や情報の整理を図るなど、効果的な情報発信手法を検討します。「ぐるっとみやまえ」は増刷を行い、転入者への配布を行います。	企画課

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
5	宮前ガイドマップ作成事業	900,000	900,000	754,425	宮前区への転入居者への配布が主であるので、道路や公園などの街なみや、区内の主要施設の情報など、正確な情報を伝えることが重要であり、原則として毎年度情報の更新をするとともに、5年に1回程度の割合で全面改訂を検討する必要があります。地図により宮前区および区内主要施設を紹介することで、区民の利便性の向上が期待できます。また区内のスポット等を紹介することにより、宮前区への関心を高め、区のイメージアップを図ることができます。	作成にあたり、ユニバーサルデザインが適用されているかどうか、市や印刷業者以外務の外部機関において審査を経たものを発行します。バス路線の変更や地図表示内容の名称変更や移転などについては常々注意をし情報収集を行いながら最新の情報にて発行します。	平成25年2月発行。15000部作成。1年間配布を続けるため、組織再編に伴う区役所業務の変更といった、発行時点で予測のつく変更についてもフォローできるよう発行。地図については、レイヤーの表示・非表示が選択できるPDFデータの納品を仕様を組み込み、他業務でも利用することで、地図が「紙⇒データ」「白黒⇒カラー」での操作が可能となりました。	5年に一度、改訂を検討。平成26年度がそれにあたるため、3ヵ年計画に反映させています。改訂の内容は随時区民の方の反応を見ながら検討をしていきます。	地域振興課
6	宮前区ガイドブック改訂事業	3,234,000	2,050,000	2,025,753	本事業は実行委員会形式で進め、職員や一般的な編集者などが知らない情報を区民から提供を受けながら作成をします。区民目線での編集により、宮前区の魅力を深く知ることができ、これにより宮前区への関心を高めてイメージアップを図ることができます。区制30周年にあわせて平成24年度発行。それに向けて、23年度に実行委員会を立ち上げ、約2年かけて掲載事項を決定し発行します。地元区民にしかわからない情報や季節や場所を配慮した写真の撮影など最新情報に加え、公募による実行委員のセンス・インスピレーション・創造力等を活かします。	平成24年10月に改訂版発行。10,000部作成。区誕生30周年記念事業として実施。最新かつ正確な情報が反映されるよう委員及び事務局で綿密な取材、情報収集を行いました。	平成24年10月に発行。10,000部作成。区誕生30周年記念事業として実施。掲載記事、写真については、全て差換えるとともに最新かつ正確な情報が反映されるよう、委員及び事務局で綿密な取材、情報収集を行いました。また、当初予定より早く発行し、10月の宮前区民祭で発行の周知を行うことができました。	経過年数、在庫状況等に応じて増刷または改定を検討。	地域振興課
7	シニアライフ支援事業 (区民会議課題)	144,000	144,000	135,390	シニア世代がこれまでの人生で身につけてきた知識・経験を身近な地域で活かすきっかけを提供することで、暮らしやすい地域づくりとシニア世代の居場所づくり、生き甲斐づくりを支援する。	・シニアライフ相談窓口の開設(毎週木曜の9時～12時、区役所2階ロビーで開設、出張相談も実施)	・シニアライフ相談窓口を延べ50日開設(区役所46日、出張所3日、区民祭1日)	・シニアライフ支援事業は他の事業との類似・重複していたことから、事業の整理・統合を進めてきた。 ・シニアライフ相談窓口は、当初の目的であるシニア世代の社会参加に関する相談が少なく、生活全般に関する相談や専門機関の紹介が多くなっていた。当初の目的から外れてきたことに加え、生活全般に関する相談や専門機関の紹介等は他の窓口が担っていることから、今年度末で事業を終了する。	企画課
8	多様な主体の社会参加促進事業	470,000	470,000	470,000	区内小学生を対象に、公募した区内在住の成人・高齢者を中心とした遊びの達人による伝承遊びなど素朴な遊びを伝授する場を提供します。また、公募により集めた中学生・高校生や青年のボランティアに、小学生と遊びの達人をつなぐサポーターとしての参画を促し、全世代を対象とした世代間交流の場「あそびランド」を実施します。遊びランドの企画運営については公募による企画委員と協働により実施します。	・「遊びの達人」と称する、各世代を代表する遊び・ゲームの名人が遊びの紹介や競技を行うことで、世代間の交流と親交を深めます。(けん玉・お手玉・ベーゴマなど昔あそびの提供。六角箱や折り紙、竹とんぼや、ぶんぶんごま等を作って遊ぶコーナー等を設置) ・氷3トンを使った冰山での遊びや外遊びの紹介等を行います。 ・「ホールで魅せよう」をテーマとして、小学生や中学生の、ダンス等の活動の発表を行います。	天候にも恵まれ、参加者は昨年を大きく上回りました。ほかの事業や職場体験などで市民館に来館した中学生・高校生に当日ボランティアへの参加を呼びかけた結果、昨年より当日ボランティアの人数が多くなりました。	引き続き、大人の遊びの達人や子育てに関わる団体、障がい者の団体など多様な主体と子どもたちや中学生・高校生、大学生のボランティアなどが関わり、交流できる事業を展開していきます。	生涯学習支援課
9	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業	403,000	403,000	308,724	区の生涯学習推進会議にプロジェクトチームを設置し、区における地域人材の育成と活用の方策等について定めた「地域人材育成指針」を23年度末に策定しました。また、指針により区各課の連携によるモデル事業を実施することになっており、その成果と課題を指針づくりの内容に反映します。	モデル事業「IT版情報サポーターズ講座」を実施します。また、事業実施と評価を通して「宮前区地域人材育成に係る基本指針」や「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の検証を行い、必要があれば宮前区生涯学習推進会議で検討し修正していきます。区職員及び区内生涯学習関連施設職員向けに「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の活用研修を実施します。	「みやまえ情報サポーターズ養成講座」では、参加者の意欲は非常に高く、民間の雑誌と見劣りしないレベルで、転入してくる新区民に区の魅力を紹介する冊子「ぐるっとみやまえ」を作成しました。修了者は、25年度の「IT版みやまえ情報サポーターズ講座」への参加を希望しており継続した活動につながるかと期待されます。「高齢者健康づくりリーダー育成事業」では、向丘地区8か所の公園体操への参加者が増え、次世代を担う公園体操のリーダーが養成されたほかリーダー同士が交流し、一層活動が深まる結果となりました。	庁内生涯学習推進ワーキングを開催し、モデル事業について検討し、実施していきます。モデル事業実施と評価を通して「宮前区地域人材育成に係る基本指針」や「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の検証を行い、必要があれば宮前区生涯学習推進会議により修正していきます。区職員及び区内生涯学習関連施設職員向けに「市民対象学級・講座・イベント 企画・運営マニュアル」の活用研修を実施します。	生涯学習支援課

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

N O	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
10	市民活動支援拠点のネットワーク事業	508,000	1,293,000	1,186,902	<ul style="list-style-type: none"> 区内の市民利用施設を活用した市民活動拠点の有効利用促進のための情報収集や発信等の機能充実を図る。 宮前区まちづくり協議会を通じて作成した、区内の市民利用施設を紹介した「宮前区市民活動応援マップ」を及び区内の支援コーナーに利用登録している市民活動団体を紹介した「みやまえ市民活動のなかま」の継続配布 区民活動支援コーナー、ふれあいスペース宮前、向丘地区区民活動支援コーナーの事務用機器貸し出し 市民活動団体の一つの拠点となる市民館の備品等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「宮前区市民活動応援マップ」及び「みやまえ市民活動のなかま」の継続配布 区民活動支援コーナー、ふれあいスペース宮前、向丘地区区民活動支援コーナーの事務用機器貸し出し、市民活動の推進に寄与しました。 市民活動団体の一つの拠点となる市民館において、展示用パネルを整備しました。 向丘出張所に、市民活動拠点としての充実を図るため展示用パネルを整備しました。 	<p>支援コーナーの設立時期にかかわらず、市民活動に必要な機械等を引き続き備える必要があります。区内支援コーナーの事務局が異なるため、設備機器・利用料金・登録団体等の情報を統一的に集約することが効率的であり、収集した貴重な情報を活動団体等に発信することが重要です。向丘地区区民活動支援コーナーにおいては、引き続き登録団体の相互交流を支援・促進し、新規加入の増加を図ります。</p>	地域振興課	
11	みやまえカルタ制作事業 (区民会議課題)	1,734,000	1,758,000	1,731,892	<ul style="list-style-type: none"> 地域への愛着や関心を高め、地域コミュニティの活性化を目指し、幅広い世代が参加して地域カルタ制作に取り組みます。 平成23年度は、各中学校区のカルタを完成させ、各地域で活用しました。 平成24年度には、区制30周年を迎えることから、区制30周年記念事業として、区のカルタを制作し、記念カルタ大会等を開催します。また、完成したカルタを地域や教育現場で活用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会により8つの地域カルタから選定した札を、7月1日の区誕生30周年記念カルタ大会で発表します。 区民祭において、区のカルタのお披露目を行います。 区のカルタの販売を行います。 	<p>10月に全9種類のみやまえカルタが完成し、各地域でのイベント等での展示、カルタ大会を随時実施したことで着実に地域への広がりを見せています。カルタには身近なものが詠み込まれているため、区民にとって親しみ感があり、手に取れば内容をネタに話が弾む様子が多くみられます。PRを引き続き進めていくことで、さらにコミュニティの活性化につながっていくと思われます。</p>	<p>11月末から区のカルタを販売していますが、むしろ地域カルタを求める要望が強いため、販売状況等の検証をした上で増刷等を検討する必要があります。また学校や各施設とのタイアップを強化し、引き続き学校教材等として活用するとともに、地域でのイベント等を随時開催し、普及啓発を図っていきます。</p>	企画課
12	宮前区誕生30周年まつり開催事業	3,000,000	3,000,000	2,999,735	<p>宮前区誕生30周年を広く区民の方にPRするため、宮前区誕生30周年の記念式典及び記念コンサートにあわせて宮前区誕生30周年記念まつりを開催します。また、まつり開催を通して地域や世代間の交流や地域コミュニティの促進を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 7月1日の市制記念日及び分区の記念日に合わせて宮前区誕生30周年記念まつりを開催します。同時に開催される記念式典、記念コンサートにあわせて大規模な区民参加型のイベントを開催します。 区役所・宮前市民館全館・市民広場を会場として区内で活動する非営利団体による対話・体験コーナーなど、来場者とのふれあいを重視した催しや出店を中心としたイベントとします。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内の活動団体を中心として50団体近くの出店、展示、ステージでの参加があり、地域コミュニティの活性化や世代間交流につながりました。 記念式典及び記念コンサートと同時開催することで内容が充実し、PR効果や来客数の相乗効果が得られました。 宮前区誕生30周年を広く区民の方にPRすることができ、区民に対し「宮前区」を再認識してもらい、ふるさと意識の醸成を図ることができました。 	<p>宮前区誕生30周年として開催したことから、次年度以降については同様のイベントは開催する予定はありません。</p>	地域振興課
13	宮前区誕生30周年記念事業	2,906,000	2,906,000	2,905,368	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年(2012年)7月1日に迎える区制30周年を新たな飛躍に向けた節目の年と位置付け、区民の皆さんとともにこれを祝い、これまで培ってきた歴史・文化・地域の魅力を再発見するとともに、これを広く区内外に発信し、区民としての誇りや一体感の醸成を図り、さらなる区政発展の契機とします。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月1日に記念式典を実施○メディア連携事業として川崎市ウォーカーと連携した区民向け記念誌の制作及び年間を通じたタウン紙への記事広告の掲載を実施 区内の若手職員プロジェクトから提案された3事業を実施 記念ロゴグッズを制作 	<ul style="list-style-type: none"> ロゴマークやキャラクターを活用した統一したPR活動により、宮前区誕生30周年の機運盛り上げと対外的な区のイメージアップ効果を獲得することができました。 町内会・自治会、商店街などさまざまな区内の団体の代表で組織する実行委員会による記念事業の検討・実施作業を通じて、各団体間の連携強化を図ることができました。 	<p>宮前区30周年記念事業の総括として、記念イヤー(平成24年1月～25年3月)に多様な主体により実施された記念式典をはじめとする多彩な記念事業の記録を写真と文章でまとめた記録誌を制作し、30周年を迎えた宮前区内の表情を後世に伝えることにより、区民としての誇りや一体感の醸成を図り、さらなる区政発展の契機とします。事業は平成25年度に終了予定。</p>	地域振興課
14	坂道を活かした活力づくり事業 (区民会議課題)	973,000	973,000	972,300	<p>坂道の標識18箇所を巡るウォーキングコースを掲載した「みやまえ坂道ウォーク」を発行するなど、坂道を活かした活力づくりについて普及啓発を図ります。</p>	<p>「みやまえ坂道ウォーク」を平成24年10月に2000部発行し、区内行政施設や各イベントで配布しました。あわせて、区役所ホームページから全ページをダウンロードできるようにしました。平成25年3月の区民会議フォーラムでも冊子を活用したウォークラリーを実施しました。</p>	<p>「みやまえ坂道ウォーク」の発行を通して、区民会議提案に即した「坂道を活かした活力づくり」の取組を進めることができました。</p>	<p>地域の課題解決を図る事業提案制度により平成24年度に実施された「坂道もらくらくウォーキング教室」を本事業に組み込み、「みやまえ坂道ウォーク」の利用促進とあわせ、「坂道を活かした活力づくり」を継続的な取組にしていくため、予算を拡充します。</p>	企画課

平成24年度 宮前区地域課題対応事業 評価一覧表

NO	事業名	当初予算額 (円)	最終予算額 (円)	決算額 (円)	事業の概要	24年度の取組	成果	25年度以降の事業の方向性	担当課
7 区役所サービス向上事業									
1	宮前区役所BGM 配信事業	42,000	42,000	42,000	庁舎内にBGMを流すことにより、庁舎全体に明るく穏やかな雰囲気を作ることができ、心にゆとりと潤いを持つことで、来庁する区民と職員との間に良好なコミュニケーションが生まれ、窓口サービスの向上につなげています。また「音楽のまち・川崎」の推進に寄与することができます。	庁舎内にBGMを流し、季節毎に曲目を変え、親しみのある空間を生むことができました。	庁舎内にBGMを流すことにより、単に行政上の申請等を行う場としての区役所にとどまらず、区役所を区民にとって身近で明るく親しみのある場所として提供できました。	平成14年度から継続して実施しており、職員にも定着しています。区役所サービス向上の一つとして、低コストで実施できる有効な事業であり、委託業者と効果的な方法を検討しながら、行っていきます。	総務課
2	バリアフリー推進事業	1,575,000	1,071,000	1,039,500	区役所サービス向上指針を策定しこれに基づく、乳幼児・妊産婦・高齢者・障害者など多くの区民に対して快適に利用できる区役所庁舎のための取組を推進します。	来庁者が安心して利用できる庁舎整備の一環として、市民広場北側の階段部分をノンスリップ化するとともに、階段であることを明確にする塗装を行います。	来庁者が安心して利用できる庁舎整備の一環として、市民広場北側の階段部分をノンスリップ化するとともに、階段であることを明確にする塗装を行います。	庁舎内施設のバリア確認を常日頃から実施するとともに、来庁者からの指摘などを真摯に受け止めるようにします。また、庁舎改良工事については、多額の費用が見込まれ、優先順位などの議論を十分実施したうえで、箇所決定を行っていきます。	総務課
3	窓口サービス向上事業	90,000	3,557,000	3,554,124	来庁者の中には小さなお子様連れの区民の方が多く、絵本コーナーは大変好評で多くの方に利用されているため継続的なメンテナンスが必要です。 また、転入者へ配布している「ようこそセット」の中に「区長のあいさつ」・「行政案内」等を入れ、お迎えする気持ちを伝えることで、宮前区のイメージアップや区民サービスの向上を図ります。	夏場の来庁者向けに団扇型の番号札の作製を行いました。絵本を19冊購入しました。転入者に配布している「ようこそセット」に区長のあいさつと区役所の事業案内を入れ、区民サービスの向上を図りました。庁舎2階の壁紙張替えと3・4階のブラインド改修を行い、待合環境の整備を行いました。	夏場の来庁者向けに団扇型の番号札の作製を行い、絵本については、19冊購入し入れ替えすることができました。また、転入者に配布している「ようこそセット」に宮前区長のあいさつと区役所の事業案内を入れ、区民サービスの向上を図ることができました。更に、庁舎2階の壁紙張替えと3・4階のブラインド改修を行い、明るく清潔感を保った中で順番をお待ちいただけるようにすることにより、待合環境の整備を行うことができました。	「絵本コーナー」や「ようこそセット」は区民の方に大変好評でよく利用されており、今後も引き続き、待合スペースの環境整備の充実が必要と考えられます。	区民課
8 その他									
1	管理運営経費	793,000	707,000	593,126	地域課題対応事業における事務経費				
2	緊急対応費	2,217,000	0	0	緊急的な事業に対応するための経費				
3	地域の課題解決を図る事業提案制度事業	1,000,000	1,000,000	944,520	地域の課題を地域自ら解決していくことを目指し、区民会議から提案された課題の解決や地域の課題解決に取り組む団体等を広く募集し、区役所がその取組を委託、事業補助などの手法で支援します。	「地域の課題解決を図る事業提案制度」は団体からの提案を受け、要綱に基づく審査等を行い、提案団体との協働により事業を実施します。本事業の目的は区民会議を充実させることなど、他の仕組みを機動的に運用することで補完可能であることから、平成25年度末をもって事業を廃止をします。	本事業を通じて区民と区役所の協働による地域課題の解決が具体的なものとなり、一定の成果を挙げています。	平成25年度末をもって制度を廃止しますが、平成25年度は継続事業の提案も想定されることから移行期間として事業規模を現状維持とします。	企画課
合計		55,000,000	55,000,000	53,012,030					